



ジェフリー通信

すずか

2020

8月



「ジェフリーすずか通信」はホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.suzuka.lg.jp/danjo/>



令和2年度

「男女共同参画推進フォーラム」(NVECフォーラム)が オンラインで開催されます！

男女共同参画の推進に関心のある人々が課題を共有し、ともに解決策を探る研究機会として「男女共同参画推進フォーラム」が開催されます。また、このフォーラムを契機に、地域・組織・分野を越えた交流学习が進み、連携・協働して男女共同参画を推進するネットワーク形成が強化されることが期待されます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、インターネット配信によるオンライン形式とし、NVEC ホームページ及び開催期間中に開設する「男女共同参画推進フォーラム」特設サイト上で開催されます。

テーマ



つなぐ、あらたな明日へ ~女性も男性もともに暮らしやすい社会を創る~

基調講演

LIVE配信 8月27日(木) 13:30 ~ 15:00

私たちはジェンダー平等を
どこまで達成できたのか？
~世界から見たニッポン~

【講師】 林 陽子

弁護士、前国連女性差別撤廃委員会委員長
G7ジェンダー平等諮問委員会委員



ワークショップ パネル展示

全国から募集した男女共同参画の活動に取り
組む団体・個人による発表、報告を行います。



昨年度の様子



昨年度の様子

参加方法

開催期間中に「NVECホームページ」および「男女共同参画推進フォーラム(特設サイト)」を閲覧してください。

参加費
無料

「男女共同参画推進フォーラム(特設サイト)」の閲覧には、NVECホームページ掲載「参加申込フォーム」からの参加申込が必要です。参加申込を行うと、(特設サイト)にログインできます。

参加申込受付期間 令和2年8月27日(木)9:00~9月26日(土)17:00



シンポジウム

LIVE配信 ▶ 9月17日(木) 19:00～20:30

録画配信 ▶ 9月26日(土) 10:30～12:00



傷ついている誰かを取り残さない

～ジェンダーに基づく暴力(GBV)とたたかう現場からの提言～



©情報科也

コーディネーター
小島 慶子

エッセイスト、タレント
東京大学大学院情報学環客員研究員



シンポジスト
北仲 千里

NPO法人全国女性シェルターネットワーク共同代表
NPO法人性暴力被害者サポートひろしま代表理事



シンポジスト
多賀 太

一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン共同代表
関西大学文学部教授



シンポジスト
山本 潤

一般社団法人Spring代表理事
SANE(性暴力被害者支援看護師)

下記もオンラインでご視聴できます。

- (1) 主催者あいさつ 内海 房子 独立行政法人国立女性教育会館理事長
- (2) メッセージ「男女共同参画推進フォーラムに寄せて」

男女共同参画推進に取り組む各機関から、開催を記念してのメッセージ

※申込書等で得た個人情報については、事業実施のための連絡及び参加者の統計情報として使用されます。
その情報は厳重に管理し、取扱いには十分留意されます。

●主なスケジュール

	8月27日(木)	9月17日(木)	9月26日(土)
基調講演	LIVE配信 ▶	ライブ配信後はオンデマンド配信 →	
シンポジウム		LIVE配信 ▶	録画配信 ▶
ワークショップ・パネル展示 (特設サイトで参加できます)	← 各ワークショップ配信日時はNWECホームページで案内 →		

※プログラムは主催者の都合により変更・中止することがあります。最新情報は、NWECホームページでお知らせします。

■主催／お問い合わせ

独立行政法人
国立女性教育会館
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

TEL 0493-62-6724

MAIL progdiv@nwec.jp

URL <https://www.nwec.jp>

NWEC 検索

気になる記事をピックアップ!



非正規女性 29 万人減

毎日新聞 5月26日 夕(抜粋)
(中川聡子・矢澤秀範)



新型コロナウイルスの感染拡大の影響による雇用情勢の悪化で、特に女性の非正規労働者に深刻な影響が出ている。総務省の3月の労働力調査では前年同月比で男性の非正規労働者が2万人増だったが、女性は29万人も減った。このうち25万人は子育て世代の35~44歳に集中しており、経済状況の苦しい母子世帯や単身女性への打撃が大きいとみられる。これまでに解雇・雇い止めされた労働者は今月に入り、男女合わせて1万人を超え、支援団体から「一刻も早く救済を」との声が上がる。

(中略)

雇用されて働く女性は、半数以上が非正規だ。竹信三恵子・和光大名誉教授(労働社会学)は「女性は家事や育児を抱えたり、夫の収入で暮らす補助的な労働力とみなされたりして不安定な非正規雇用に追いやられがちだ。雇用保険に入れず失業給付がなかったり、休業手当を受けられなかったりするケースも多い。非正規向けの所得保障を強化し、家賃補助など生活支援の充実も急務だ」と訴える。

子育て世代 雇用不安定



総務省の3月の労働力調査では非正規の労働者数は2150万人で、このうち女性は1473万人。年代別でみると15~44歳が減少し、とりわけ35~44歳は前年同月から25万人減った。

一方で正規も含めた女性労働者全体では、人口減少や労働力不足から増加傾向が続く。女性の正規労働者は前年同月から58万人増加した。ただ、若年層で正規化が進む中、35~44歳は1万人増にとどまり、この世代の雇用の不安定さが改めて浮かんだ格好だ。

労働問題に詳しい後藤道夫・都留文科大名誉教授(社会学)は「企業は流行が収束した後を見据えて正社員の雇用は守る一方、非正規の雇い止めや削減に向かう懸念がある」と話す。

お勧め図書のお知らせ



今月は、鈴鹿市立図書館にある本をご紹介します！
本の閲覧、貸出は鈴鹿市立図書館をご利用ください。

【21世紀の「女の子」の親たちへ
女子校の先生たちからのアドバイス】

女子がありのままでいられれば、社会は変わる！
非認知能力、人権問題、東大女子、ガラスの天井・・・
「ひととは違ったモノサシ」を持ち、
「競争より共栄」ができるひとに育てるには？

男女共同参画推進員研修



7月20日(月), 本江優子さん
(公益財団法人 反差別・人権研究所 事務局長)を講師に迎え, 市職員の男女共同参画推進員及び人権啓発推進委員研修を実施しました!

人権・差別とはということから, 性別役割分担意識の問題点や, 性的マイノリティについてお話いただき, 「どのような生き方, 振る舞いを選択しても, それが尊重され, 受け入れられる社会の実現が重要である」ことを学びました。

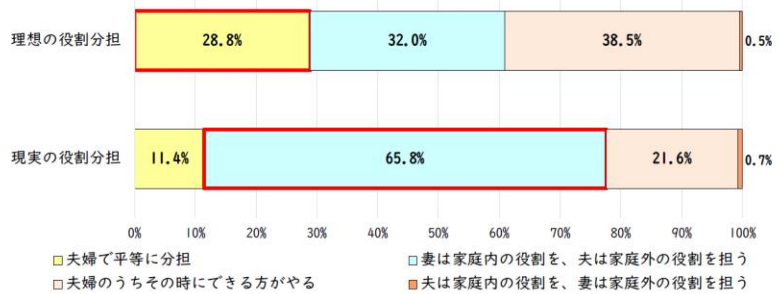


「男は仕事、女は家庭」「男は主要業務、女は補助的業務」という考え方の現状

「生活定点調査1992-2018」結果より

博報堂生活総合研究所では、生活者の意識や行動の変化から将来の価値観や欲求の行方を予測するため、同じ条件の調査地域・調査対象者に対し、同じ質問を繰り返し投げかける時系列観測調査「生活定点」を、1992年から2年に一度実施している。(有効回答:20~69歳の男女 3080人)

夫婦間での役割分担/理想・現実(既婚者回答)



研修資料から抜粋

女性のための電話相談

女性の相談員が対応します

8月 August 2020						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

○: 相談日

059-381-3118 (直通)



相談日: 毎週火・木・金曜日

(第4金曜日・休館日を除く)

時間 10:00~12:00 (午前)

13:00~16:00 (午後)

- ・相談は無料です。
- ・相談内容などの秘密は厳守します。
- ・必要に応じ、面接相談, 市役所担当課等をご案内します。
- ・話し中の場合は, 時間をおいておかけ直してください。

鈴鹿市男女共同参画センター (愛称: ジェフリーすずか)



〒513-0801

三重県鈴鹿市神戸二丁目 15 番 18 号

(かんべ再開発ビル3階)

TEL059-381-3113 FAX059-381-3119

E-mail danjokyodosankaku@city.suzuka.lg.jp

ジェフリーすずか 検索

